

その2 効果的な防犯対策を実践しよう！

これらの侵入犯罪への対策を考えるうえで重要なデータがあります。

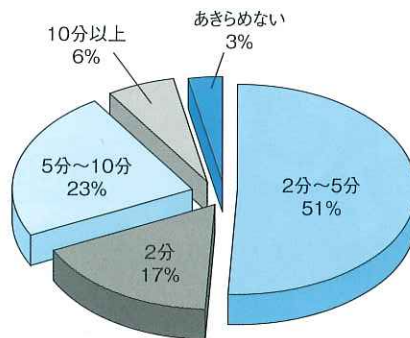
Check Point

侵入をあきらめさせる防犯対策を!!

侵入盗の約7割が5分間で、9割以上が10分間で侵入できなければ犯行をあきらめる、という統計があります。

つまり、犯罪者による侵入行為に対し10分以上かかる防犯対策に心がけることで、多くの被害が防げることになります。

出典：(財)都市防犯研究センター



以上のことを踏まえ、次の4つの対策に心がけましょう。

対策1

鍵かけを徹底しよう

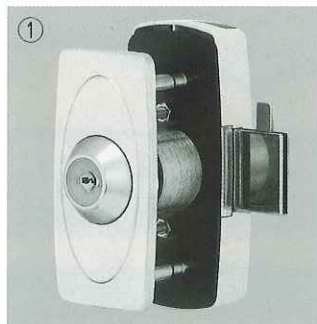
何よりも基本となる防犯対策は鍵かけです。これだけで、かなりの被害を防ぐことができます。空き巣は玄関以外からも侵入しますので、窓や縁側などの戸締まりも忘れずに行いましょう。

対策2

錠による補強、錠の補強をしよう

主錠のほか、補助錠を設置する「ワンドア・ツーロック」で防犯性を高めましょう(①)。

このほか、「防犯性能の高い建物部品目録(次ページ参照)」に掲載された建物錠への交換、サムターンカバー等の防犯器具の取り付けなど、錠自体の補強をしましょう(②)。



① 錠前を扉面に固定するタイプの補助錠
(外側からかんぬきが見えず破壊に強い)



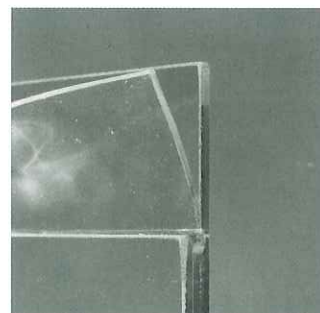
② サムターンカバーや鎌形のかんぬきの付いた錠

対策3

防犯ガラスへの交換をしよう

鍵かけをしても、それだけで空き巣被害を全て防げるわけではありません。一戸建て住宅ではガラス破りが最も多い手口になっています。

防犯ガラスは、ガラスの間に中間膜を挟んであり、ドライバー等を使った「こじ破り」に抵抗力を発揮します。



特殊中間膜を挟んだ防犯合わせガラス

対策4

地域の自主防犯意識を高めよう

空き巣などの犯罪者は事前に下見をし、狙いやすい家、狙いやすい地域を探しています。

犯罪者は顔を見られたり、声をかけられたりすることを嫌います。日ごろから地域におけるあいさつや声かけに心がけたり、防犯パトロールなどを行なうことで、犯罪のない安全で安心できる地域をつくりましょう。